

日光の草原を継承する

霧降高原キスゲ平園地^{だいら}と土呂部の草原^{どろぶ}が

未来に残したい草原の里100選に選ばれました

くわしくは 環境生活課 環境対策係 ☎0288-21-5152

かつては、茅葺き屋根の材料や、牛馬の飼料などに利用され、人里の暮らしを支える資源として大切に守られてきた「草原」。今では国土の1%にまで減少しましたが、多くの希少動植物が生息するなど、生物多様性に富んだ環境として、また、観光資源としても見直されています。今年、「全国草原の里市町村連絡協議会」は、人が草原との関わりの中で培ってきた知識や技術、思いを共有し、次世代へ受け継ぐため、「未来に残したい草原の里100選」の第1回選定(全国34カ所)を行い、日光市からは「霧降高原キスゲ平園地」と「土呂部の草原」が選ばれました。



あかなぎさん
赤薙山の中腹、標高1,300m~1,600m
に広がる高原。6・7月には山の中腹にニッコウキスゲが群生します。

散策できる遊歩道や、関東平野を一望できる展望台へ続く「天空回廊」と呼ばれる1,445段の階段があります。

ここに注目…

鹿の食害を防ぐため、鹿侵入防止柵が設置されています。そのほか、秋の草刈りや補植(キスゲの株を植える)など人の手により園地が保全されています。

春はカタクリ、秋は草紅葉なども見られ、さまざまな草花が楽しめます。冬には、雪遊びやスノーシュー体験も可能。四季の魅力がいっぱいです。

霧降高原キスゲ平園地

霧降高原キスゲ平園地管理団体 「自然公園財団日光支部」

▶平成25年の開園から、キスゲ平園地の管理・運営を行う。自然環境の保全、施設の維持管理、園内情報の提供、自然観察会の実施など。日光湯元ビジターセンターも運営する。



たちほらりょう
立原 遼 主任

キスゲ平をスキー場やリフトのある光景で記憶されている方もいるかもしれませんが。現在は、天空回廊や、遊歩道、レストハウスなどの施設がある自然公園になっています。

昔からキスゲ平にはニッコウキスゲの咲く草原が広がっており、地域の住民が、燃料や飼料のために利用していたともいわれています。しかし、鹿の食害によりニッコウキスゲの数が激減したため、柵の設置など保全管理を継続して行っています。

実は、ニッコウキスゲは、ゼンテイカという名称の花で、全国的に分布していますが、その別名のとおり日光にとっては象徴的な花です。絶対に守っていかなければという使命を感じています。

「今市方面からはキスゲの花で山の斜面が真っ黄色に見えた」と話す方もいます。現在の鹿対策を継続すれば、その光景を取り戻せると考えています。今回の選定を機に、多くの方にキスゲ平の魅力を知ってもらい、ぜひ遊びに来てほしいです！

土呂部の草原

栗山地域土呂部地区の山の斜面にあります。秋には、ススキなどイネ科の植物の総称である「茅」を乾燥させるために円すい状に立てかけられた「茅ボッチ」が立ち並び光景が見られます。かつて、24haあった茅場ですが、現在は約5haが管理されています。

ここに注目…

絶滅危惧種を含む希少な植物や昆虫が見られます。県内唯一のミズバショウの自生地でもあります。人の手の管理により豊かな草原環境が維持されています。

江戸時代中期には、土呂部に人の営みがあったといわれます。茅は牛馬の飼料、茅葺き屋根の材料などに使われ、茅ボッチの里山風景は長い歴史があります。

土呂部の草原保全ボランティア団体「日光茅ボッチの会」

▶平成25年に設立したボランティア団体。現在、メンバー45名が、茅ボッチのある里山風景と草原植物を守ることを目的に活動中。



いいむら たかぶみ
飯村 孝文 代表

私たち、茅ボッチの会は、春の雪解け後に鹿対策のための電気柵の補修などに始まり、歩道の整備、低木伐採や草刈りなどを随時行い、10月からは茅ボッチ作りをしています。冬季には地元の方と一緒にメープルシロップ作りもしています。

今回の100選の選定は、土呂部が「人の営みにより残された草原として全国的な組織から認められたこと」と捉え光栄に思っています。選定にあたり、保全活動を理解し、協力してくれる地元の方に感謝しています。

土呂部の草原は整備途中のため、現在、自由に立ち入ることはできませんが、今後、草原内をさらに整備し、ゆくゆくは「土呂部自然園」のような形で開放できればと考えています。

また、活動を一緒に行う会員も募集中です。後継者を育成し、責任ある活動を継続していきたいです。

冬の土呂部は関東一寒い場所です。マイナス15℃を下回る日には霧氷やダイヤモンドダストが見られます。ぜひ冬の土呂部も訪れてみてください。

霧降高原キスゲ平園地

所在地：日光市所野1531

レストハウス開館時間：4月～11月

は午前9時～午後5時、12月～3

月は午前9時～午後4時

※年末年始は休館(元日は臨時開館)

問合先：☎0288(53)5337



土呂部の草原

所在地：日光市土呂部

※現在、イベントの場合などを除き、草原の中へ立ち入ることはできません。詳しくはお問い合わせください

問合先：niko@kyabochi.jp

※日光茅ボッチの会メールアドレス